

# 津久井中央ロータリークラブ



事務所・例会場

相模原市緑区中野 1029 津久井商工会館 2F  
TEL 042-780-0201 FAX 042-850-4830  
例会日 毎週木曜日 時間 12:30~13:30  
会 長 前沢弘之 幹 事 井上 旭



第 1186 回 令和 1 年 6 月 13 日(木曜日) 《37》

司会 杉本信一 SAA 会長 前沢弘之 会長 齊唱 それでこそロータリー

## 会長挨拶 前沢弘之 会長

前回の続き、「私の職業論」後編をお届けします。

前編では、「おじいさんのランプ」という童話を題材に、職業の構造論のような話をし、例によって、「職業はある時点の社会的分業体制の別名に他ならない」とか、「個人の自己実現、夢の実現といった次元は、二次的な反射的効果みたいなものに過ぎない」などという訳の分からない話をした上で、そんなつまらない話をしてもしょうがないから、もしも私たちが青少年の前で職業について何か話すとしたら、自分自身の具体的な経験論しかないだろう。だから、今回は、その自分の経験論を話してみると予告してしまいました。

で、あれこれ考えてみたのですが、皆さん、ちょっと想像してみてください。人前で自分の職業の経験について話をしたらどうなるか。おそらく、イヤらしい自慢話か、つまらない愚痴話にしかならないような気がしませんか？ 私が「例会に来なけりゃ聞けない面白い話シリーズ」なんぞと銘打ってお話したことも、その類だったような気がしなくもありません…。そう言えば、数年前、小川さんが職業奉仕委員長の時に「職業上の愚痴をこぼす会員卓話シリーズ」という画期的な企画がありましたね。私たちの精神衛生上も大いに結構な企画だったと思います…が、ここで自慢話や愚痴話をタラタラしても仕方なからう。やっぱりやめておこうと、一旦は考えました…が、更によくよく考えると、そういう自慢話や愚痴話こそ、若者が求めているものなのではないか。そういう話こそが、結局のところ一番ためになるのではないかと、また考え直してしまいました。 例えば、

水野さんが「ほとんどの商売は、(例えば司法書士のように) 地道にコツコツ稼ぐしかないのだが、文字通り一攫千金の仕事もある。才覚と度胸と(意外に) 緻密な計算のできる能力があれば、キレイな嫁さんをもらって、イイ靴を履いて暮らせるかもよ。」なんて話をすれば、青少年たちはものすごく勇気づけられるでしょう。

…で、仕方ありません。その経験論を少し…まずは何故か「おじいさんのランプ」風に。

ある日、息子がこう尋ねてきた。「お父さん、隙間産業って何?」「うん。あんまり世間が相手にしない小さなマーケットを相手にするような商売のことだな。ニッチ産業なんて言い方もあるようだ。」「例えばどんなの?」「そうだな…。ふむ。思い出したことがある。どれ、一つ昔話をしてやろう。」

昭和の終わり頃のことだ。当時、私が働いていた事務所で、ある事件を受けていた。中年の男性が女の人に、貸したんだか、あげたんだか、その金を取り返してほしいという依頼だった。振ったか振られたか知らないが、男女関係のもつれというやつだな。まあ、そんな犬も食わないような話だし、大体そういうときは、お金なんか戻って来やしないものだ。そうこうするうちに、1年ぐらいの月日が流れた。まあ、ウチのボスも、本気で取り返してやろうとしていたのかどうか、疑わしい。

そんなある日、ある男が事務所を訪ねてきた。その事件のことで話を聞きたいと言う。

なぜか私が対応したのだが、男は、ウチの依頼者から頼まれて来たということだった。そして、「私、サルベージ屋です」と言う。二十代の

### 【出席報告者 田畑和久委員長】

現在会員数	出席対象数	本会出席数	本会欠席数	本会出席率	前回修正出席率	前々回修正出席率
16	16	13	3	81.25%	87.50%	87.50%
本日欠席者	八木会員、森田会員、具会員					

世間知らずの青年だった私は、てっきり、海に潜って沈没船のお宝でも引き上げているのかと思った。が、そうではなかった。サルベージ屋というのは、借金を抱えて逃げ回っている人を探し出したり、金なんか無いと居直っている人の隠し財産を探り出したりする仕事なのだそうだ。当たれば、デカイのだそうだ。まあ、今でいう債権回収業（サービサー）の走りの、裏稼業みたいなものだな。当時の、ただし余り褒められたものではない隙間産業だ。

ひと通り話をしてから、男は私にこう言った。「お兄さん、こういう商売もあるってことだよ。」…都会ってオッカナイところだと思ったな。そして、人間、才覚と度胸さえあれば、どうにか食っていけるのだと思ったものだ。

…すみません。その事件が最終的にどうなったかは、ここではお話しできません。そして、サルベージ屋は、弁護士法 72 条違反（非弁行為）で大体犯罪になりますので、ご注意下さい。

何が言いたいかというと、私のような仕事をしていると、世間では滅多に出会わないようなことに、時々出くわすということです。仕事の中で、びっくりしたり、感動したり、真面目に仕事をしていれば、イヤでもそんな経験をしてしまうということです。

もう一つ、私が思い描いている仕事のスタイルという話をしましょう。

ある人から私が仕事の依頼を受ける。それは私に対する投げかけ、あるいは呼びかけです。私はそれに対して応える。そして、今度は私の方から選択肢や判断の拠り所とすべき事柄を示して、「どうしましょうか」と呼びかける。「全部お任せします」の方が楽ですが、貴方はどう考えるかと敢えて投げかける。「呼応」ということですね。互いに呼びかけ合って、互いに応え合う。仕事を通じて、人と互いに響き合うような関係を作り上げていくこと、あるいは、そういう呼応関係の構築そのものが、私の仕事でありたい…。

何が言いたいかというと、プロフェッションという職業は、田畑さんの設計士という職業に典型的なように、そんな建前で仕事ができるということです。その代わりに、深い専門知識と高い倫理性が要求されるわけですが。

勿論、これは理想論です。利害関係が一致しているか、あるいは少なくとも相反しない場面でなければ、なかなか成立しがたいことです。皆さん百も承知のとおり、商売は、どうしても利害対立の世界ですね。何にせよ、お金を稼ぐ職業である限り、一方が得をすれば一方が損をする。一方は安い方が良いけれど、他方は高い方が良い。一方は余り手間暇をかけたくないけれど、他方はできるだけ一生懸命やってほしい。そういう立場に身

を置くことに変わりはありません。単純な二当事者関係ならまだしも、関係者やら第三者やら、利害は複雑に絡み合う…。ここで、普通は法律やら、終いには裁判が持ち出されるわけです。しかし、ロータリアンはちょっと違う。その前に職業倫理を、四つのテストを、高らかに！歌い上げる。奇麗ごとかも知れないけれど、これはかなり画期的なことであり、ロータリーがロータリーである要の部分だと思います。…なんて話ができれば、公共イメージが向上しますね。

さて、すみませんが、ここからいつもの調子に戻ります。

職業というのは社会経済システムを形作るカテゴリーの一つであって、人がある職業に就くということは、その社会経済システムに組み込まれて、悪く言えば歯車の一つになるということです。しかし、同時にシステムを稼働させる担い手になる訳ですから、職業に就いて働くということ自体が、既にしてイヤでも「社会」の役に立つことになるとも言える筈です。

その「社会」を機械（マシーン）に例えてしまえば（本当は、例えてはいけないと思っているのですが）、個々の職業は、その機械の部品（歯車とかネジとか）みたいなものです。そして、この機械は決して合理的に出来ている訳でも、全面的に美しくできている訳でもない上に、頻繁にモデルチェンジします。それに伴って要らなくなる部品があるように、ランプ屋や電話交換手や、灯台守のようにある職業が消滅したりします（わが国には有人の灯台は、もう一つもないそうです）。勿論、新たに生まれたりもする。構造が複雑になるほど、部品もやたら細分化・特殊化・専門化する。エンジンの仕組みがガソリンエンジンから電気エンジンに変わったりするように、重要で安泰だと思われていた部分が、いつの間にか変化していたりもする。

しかし、私たちが獲得した、あるいは与えられた、もしくはどこかから降ってきた職業を遂行するという営みは、私たちの取り戻しのきかない人生の、とても重要な場面に他なりません。だからこそ、私たちは、日々これに懸命に取り組むのであり、できることならば、それが社会を楽しく幸せにすることに役立つことを望むのです。だから、（もしかしたら？）私たちは、ロータリークラブにいるのです。

最後に、もう一つだけ。

この世界にどんな職業が生き残っていくか、あるいは生まれてくるかを決めるのは、どうしても社会にとっての有用性の有無です。そして、個々人が、どんな職業に就けるか、そこに居続けられるかを決めるのも、やはり有用性です。役に立つかどうかです。

しかし、だいぶ以前にお話ししたように、

あのやまゆり園の事件の根っこにあるのは、有用でなければ、役に立たなければ存在価値がない、そういう考え方の偏重、あるいは過度な一般化です。本当に大事なことは、私たちが親睦の場面でいつも感じているように、人の存在自体に、役に立とうが立つまいが、この人がここに居るという唯そのこと自体に、根元的な価値を置くような社会を、想い続けなければならないということです。現代社会が、我々に有用性ばかりを過度に要請する社会なのだとしたら、そうでない社会への変化に向けた努力を、継続していくことです。

以上で、私の長〜いお喋りの、締めくくりといたします。長〜いお付き合い、誠にありがとうございました。

## 幹事報告 井上 旭幹事

週報受領

相模原南 RC

ロータリー関係受領書類

ガバナー事務所

米山学友会主催「クリーンキャンペーン」  
開催案内

2019-20 年度地区ロータリーセミナー及び  
第1回補助金セミナー開催案内  
第15回日韓親善会議参加登録依頼  
ガバナー月信 No.12

相模原南 RC

例会変更通知

その他の受領書類

相模原市長

相模原市美化運動推進功労者表彰候補者  
推薦依頼

## 今年度総括 幹事・各委員会

井上 旭幹事

一年間、ありがとうございました。幹事という名前だけで、すべておんぶに抱っこで過ぎてしまったように思います。

幹事としての一年間を次年度の会長職に活かさなければと希望を持っていましたが、一週間ほど前から極端に耳が聞こえづらくなりました。診察を受けましたが、半年位は駄目らしいので、皆さんにはご迷惑をお掛けする事になります。総括とは関係ない話になりましたが、一年間ありがとうございました。

小山里枝会計

会費の納入方法が変わってから、会費の納入状況の把握が少し難しくなっています。また会員が減った事、会費の減額、寄付金の集め方の変更等で会計の役割が以前より難しくなったと感じています。今年度は会計のチェックも滞りなく済んでおります。今後、会計の課題は多くなりそうですが、次年度の会計の方には皆様の協力を仰ぎながら、また会員を増やすことも考えてやって頂ければと思います。

杉本信一会場監督

具さんの代わりに一年間やらせて頂きました。会場の準備も毎回皆さんにご協力頂きまして、無事務めることができました。また次年度も引き続き会場監督ですので、よろしくお願い致します。

沼崎善充社会奉仕委員長

津久井湖観光センター祭りには事情で参加できず、池田さんに頑張って頂きました。ポリオ募金、バザーともにたくさんの金額となりました。ありがとうございました。

山崎和彦青少年奉仕委員長

地域の子供たちのために毎年少年野球大会を後援し、今年度も行われましたが、この地域は高齢化が進むばかりで、子供は年々減っています。そういう時代になってきていますが、今後も少年野球大会は続けていければと思います。

小川洋一クラブ研修委員長

研修リーダーも5年目に入りまして、今年は主に22年の歩みを例会で5回ほどお話しました。各年度の話は終了しましたが、姉妹クラブとの活動や、職場訪問の訪問先について、また50回ごとの節目の例会の内容などお話することは色々ありますので、また次年度に機会がありましたらお話します。

また、もう1つの役割が25周年記念事業実行委員長ですが、ご承知の通り沼崎さんにご協力頂きまして、サーカスを観る家族旅行を無事実施する事ができました。ありがとうございました。

吉野賢治広報委員長

奉仕活動を通して地域には広報活動が出来ていると思います。会報の発行をもう少し早くできればというのが反省点です。

田畑和久出席・スマイル委員長

来週の最終例会で、皆出席の表彰とスマイルを多く頂いた上位3名に記念品を差し上げたいと思います。

## スマイル報告 田畑和久委員長

### 『スマイル報告 田畑和久委員長』

津久井中央 RC

前沢弘之会員 長いこと、長っ話にお付き合い頂きました。お疲れ様でした…。そして大変ありがとうございました。

井上 旭会員 心が少し闇になっています…。明日に向かって希望を持つ。

小川洋一会員 先週に続き何もありません。

吉野賢治会員 沼崎さんのお世話で組合の研修旅行に日、月で行って来ました。雨男の紹介で静岡に行って富士山を見る事が出来ませんでした。宴会はよかったです。

高橋幸一会員 ダイエットを始めて、早、半年が過ぎました。15kg 減、25 年ぶりの 60kg 台に突入しました。うれし過ぎるのでスマイルします。

杉本信一会員 沼ちゃん、毎度ありがとうございました。

山崎和彦会員 3 日間、宮島、しまなみ 10 島めぐりをしてきました。天気もよく、酒もおいしく、楽しかったです。おみやげはまだ届いていませんので、もってこられません。

14 (金)、15 (土)、沢井川ではたる祭りをしています。よかったら焼きそばでも食べにきて下さい。

池田豊文会員 田畑さん、11 日の会員増強セミナーではお世話になり、ありがとうございました。今日は天気で良かったです。スマイルします！

小山里枝会員 天気が良くなり気持ちは晴れやかになりました！ 我が社にインドネシア人の技能実習生 3 人が入社しました。井上さん、耳の調子が良くなるようただただ祈っております！ 来週、ビジターいらっしゃる予定です。よろしくお願い致します。

水野 茂会員 今日は早退しますので、スマイルします。

田畑和久会員 本年度、最後の例会場での例会です。会長・幹事をはじめ、皆様、おめでとうございます。来週の 66 会コンペはチャリティーを目的としています。皆様当たらないよう馬券の買入たくさん買って下さい。来年度は池田さんのデビューを楽しみにしています。